



自立と誇りある
日本をつくります

自民党衆議院埼玉県第3選挙区（越谷市・草加市）支部長

きかわだひとし
1票の格差問題から思うこと 黄川田仁志

特集 各国の議員定数と選挙制度～日本と比較してみよう！～

※きかわだひとしを応援する会 入会のご案内など

きかわだステーション

第16号

※『きかステ』と呼んでください！

～1票の格差問題から思うこと～

自由民主党衆議院埼玉県第三選挙区支部長の黄川田仁志です。

解散総選挙がいつ行われるのか、国民の皆様も大変関心があることと思いますが、選挙を実施するに当たって、大きな課題となっているのが、「1票の格差」の問題です。「1票の格差」とは、衆議院・参議院共に、各選挙区の有権者数と配分された議員定数に格差があり、憲法第14条が定める、法の下での平等に反するというものです。

特に、衆議院の場合、平成23年3月、最高裁判所が、平成21年衆議院議員総選挙の小選挙区の議員定数不均衡状態が違憲状態にあるとの判断を下しました。次の総選挙で、この不均衡状態が改善されなければ、裁判所が選挙そのものを無効とする可能性も残されており、改善のための対応が迫られています。

ニュースで、1票の格差について、街角インタビューしている様子を何度か見たことがありますが、大抵の方は「1票の格差はけしからん」とのご意見です。

しかし、私が実際に、地域の皆様とお話していると、この問題に直接的な関心を持っている人は少なく、定数や区割りうんぬんよりも、無駄な国会議員が多いというご意見をたくさんいただきます。街角で「1票の格差はけしからん」とお答えになっていた人たちの多くも、実際は、働かない国会議員は無駄だということを言いたいのではないのでしょうか。これから国政を目指す身としては、何とも情けなく、悲しい限りですが、私は、「1票の格差」の問題と、無駄な国会議員の問題は、分けて考えるべきだと思います。

「1票の格差」問題の最も大きな課題は、地域間の人口格差にあります。

例えば、衆議院議員小選挙区の場合、定数300の内、各都道府県に必ず1人は配分する「1人別枠方式」が採用されています。日本には47都道府県ありますので、47人を差し引いた253人分を、各都道府県の人口比に応じて配分しています。つまり、人口の少ない県が、結果的に、多目の議員配分を受けることとなります。これが「1票の格差」なのです。私は、議員配分を人口比のみで比較し、平等かどうかを判断することには賛成しかねます。人口の少ない地域であっても、国土保全や食糧供給、人材育成等、国にとって重要な役割を担っているからです。そのことをこれからの選挙区割りにどのように反映していけば良いのか、しっかりとした議論が必要だと考えます。

一方で、無駄な国会議員が多いという、皆様からのご意見も真摯に受け止めなければなりません。私から見ても、この人は国会議員として何をしているだろう？と思う人がいることも事実です。この問題を解決するためには、国会議員の定数そのものを見直す必要があります。私は、地方分権を推進し、国と地域がやるべき仕事を見直すべきと考えています。その上で、適正な国会議員の定数を決め、現在よりも少ない定数で問題なければ削減すべきと考えます。

そして、無駄な国会議員をなくすための方法がもう1つあります。次の選挙で、働かない国会議員には投票しなければ良いのです。真に日本国のために働く国会議員を、国民の皆様にとしっかりと選んでいただくことが重要です。

国のためにしっかりと働く国会議員を、地域に適正に配分すること。

議員定数の見直しは、単に「0増5減」すれば済む話ではなく、国のかたちをどうするかを考えなければならない、大仕事なのです。

各国の議員定数と選挙制度 ~日本と比較してみよう!~

自民党は、今回の1票の格差問題について、次の総選挙において「0増5減」の先行実施を主張しています。しかし、先行実施分だけで、現在の国政に対する国民の不満が解消できるものではなく、新しい国のかたちに応じた、定数削減や選挙制度の抜本改革を、次々回総選挙以降に実施する予定です。

これからの日本の選挙制度はどうあるべきか。参考として、世界の主要国では、どのような選挙制度が実施されているのかを見てみようと思います。(参考:国会図書館 ISSUE BRIEF NUMBER721、IMF-World Economic Outlook database2012.10)

国名	人口	定数	任期	議員の選出方法
アメリカ	3億1,100万人	【下院】435名	2年	直接選挙：多数代表制（単純小選挙区制） ※一部、小選挙区二回投票制もあり
		【上院】100名	6年 ※2年ごとに1/3ずつ改選	直接選挙：多数代表制（単純小選挙区制） ※各州2名。選挙時には各州1名を選出する週単位の単純小選挙区制※一部、小選挙区二回投票制もあり
フランス	6,313万人	【下院】577名	5年 ※解散有	直接選挙：多数代表制（小選挙区二回投票制）
		【上院】348名	6年 ※3年ごとに半数改選	間接選挙：概ね各県を単位として下院議員及び地方議会議員・地方議会の代表が選挙人団。但し、12議席は、在外フランス人議会の公選議員が選挙人団となる。
イギリス	6,264万人	【下院】650名	5年 ※解散有	直接選挙：多数代表制（単純小選挙区制）
		【上院】なし	終身 ※大主教及び主教と官職指定 世襲議員は当該職にある間	任命制+世襲制
ドイツ	8,178万人	【下院】598名 ※超過議席有	4年 ※解散有	直接選挙：混合制（小選挙区比例代表併用制） ※前598議席のうち、小選挙区299
		【上院】69名	不定 ※任期は、各州政府の在任期間による	任命制
スウェーデン	945万人	【一院制】349名	4年 ※解散有	直接選挙：比例代表制（非拘束名簿式比例代表制）
韓国	4,978万人	【一院制】299名	4年	直接選挙：混合制（小選挙区比例代表並立制） ※小選挙区245（単純小選挙区制）比例区54（全国区）
日本	1億2,790万人	【衆議院】480名	4年 ※解散有	直接選挙：混合制（小選挙区比例代表並立制） ※小選挙区300（単純小選挙区制）比例区180（ブロック別）
		【参議院】242名	6年 ※3年ごとに半数改選	直接選挙：混合制 ※選挙区146（都道府県単位47区）比例区（全国単位）96

例えば、アメリカは上院議員が各州2名です。各州の人口には格差がありますので、日本と同様、1票の格差が発生します。しかし、合衆国憲法によって、その格差は認められており、約60~70倍にも関わらず、違憲ではありません。人口格差が広がる日本も、都道府県という行政区を今後どのように取り扱っていくのか、改めて考えなければなりません。また、各国の人口と議員数を見ると、日本の国会議員の数が他国と比べて多い訳ではないことがわかります。それでも無駄だと思われるのはなぜか。これから政治に携わる私たちは、このことに特に危機感を持ち、真に日本の役に立つ政治家にならなければなりません。

~一緒に日本の政治を考え、行動してみませんか?~

きかわだひとしを応援する会 入会のご案内

きかわだひとしの政治理念及び活動に共感し、応援していただける方を募集しております。越谷市または草加市にお住まいの方なら、どなたでもご入会いただけます。入会金・年会費は不要です。会員の皆様には、活動報告等をお届けします。入会を希望される方は、恐れ入りますが、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。



「自立」と「誇り」ある日本をつくりたい

きかわだひとしを応援する会

〒343-0813 埼玉県越谷市越ヶ谷2丁目8-31 Tel 048-962-8005 Fax 048-962-7999

Mail : info@kikawadahitoshi.jp HP : <http://www.kikawadahitoshi.jp>

Blog : <http://ameblo.jp/kikawadahitoshi/> (Ameba 政治家ブログ)

ボランティア大歓迎

きかわだひとしの活動をお手伝いいただける方を募集しております。上記まで連絡願います。

カンパ募集しております!

サラリーマン出身のきかわだひとしの政治活動拡大に向け、皆様からの温かいカンパを募集しております。

きかわだひとしとは?…次期衆議院議員選に向けて活動中。東京理科大卒、米メリーランド大学大学院修了。松下政経塾出身。元環境コンサルタント。昭和45年生まれ。趣味は剣道・空手・スキューバダイビング・野球・落語